

大学による観光まちづくり活動

—— 山梨県立大学のケース

山梨県立大学では、学生、地元住民、企業、自治体とのコミュニケーションを高め、共同でまちづくり活動を展開するとともに、活動を担う人材の育成を図っている。

1. 大学による地方創生人材教育プログラム——PENTAS YAMANASHI

(1) 5つのプログラム

- ①観光高度化人材育成 P
- ②地域づくり加速化人材育成 P
- ③ビジネス構想力・経営マインド醸成 P
- ④多文化共生対応人材育成 P
- ⑤次代を担うアントレプレナー養成 P

(2) 参加者

学生・社会人等 同大学の学生は無料であり、社会人等との交流を図る。

(3) 観光まちづくりに関する主な科目

- ①地域資源の保全と活用
- ②まちづくりの思想と技術
- ③ローカルデザイン実践演習
- ④事業づくりの技法
- ⑤観光実践マネジメント講座
- ⑥おもてなしマイスター養成講座
- ⑦やまなしワイン入門講座 等

2. 安藤ゼミによるまちづくり活動

(1) 実践地域例

- ① 笛吹市芦川町（過疎地域の活性化、古民家活用等）
- ② 大月市（桃太郎ツーリズム、ガイド養成等）
- ③ 北杜市清里（地域づくり、地域の魅力発信等）
- ④ 河口湖町、山中湖村（観光教育プログラムづくり、地域の魅力発信等）

(2) 観光は地域の豊かさや幸せを創り出すための有効な手段であり、そして学生が地域との交流を通して地域から学び、地域と共に歩み貢献していくことを期待している。